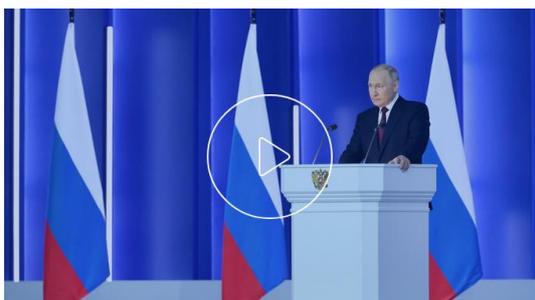


<http://kremlin.ru/events/president/news/70565>

プーチン大統領、連邦議会で演説

ウラジーミル・プーチンが、連邦議会での演説を行いました。
朗読式はモスクワのゴスティニー・ドボルにて行われました。

2023年2月21日



VLADIMIR PUTIN: こんにちは。
連邦議会の議員、下院議員の皆様！
ロシア国民の皆さん！

私は、わが国にとって困難な時期にこの演説を行っています--このことは誰もがよく知っています--世界全体が基調的かつ不可逆的に変化する時期であり、わが国と国民の将来を左右する大きな歴史的イベントが起こる時期であり、私たち一人ひとりが大きな責任を負っている時期なのです。

1年前、歴史的な土地で人々を守り、わが国の安全を確保し、2014年のクーデター後にウクライナに出現したネオナチ政権がもたらす脅威を排除するために、特別軍事作戦を実施することが決定されました。そして、一步一步、慎重に、一貫して、私たちが直面している課題に取り組んでいきます。

2014年以来、ドンバスは戦い、自分たちの土地に住む権利、母国語を話す権利を守り、封鎖と絶え間ない砲撃、キエフ政権の見えざる憎悪に直面しても戦い、あきらめず、ロシアの救援を信じ、待ち続けている。

その間、皆さんもよくご存じのように、私たちはこの問題を平和的に解決するために、本当にあらゆることを行い、この最も困難な紛争を平和的に解決する方法

を辛抱強く交渉していたのです。

しかし、私たちの背後では、非常に異なったシナリオが準備されていた。西側支配者の約束、ドンバスの平和を望むという保証は、今になってわかるように、偽造であり、残酷な嘘であることが判明したのである。彼らは単に時間稼ぎをし、多くの小細工をし、政治的な殺人、キエフ政権の望まない人々への弾圧、信者へのいじめに目をつぶり、ドンバスでテロ行為を行うウクライナのネオナチをますます奨励してきた。民族主義者の大隊の将校は、西側のアカデミーや大学で訓練され、武器も供給された。

そして強調したいのは、特別軍事作戦の開始前から、キエフは欧米と防空システム、戦闘機、その他の重装備のウクライナへの納入について交渉していたことである。また、キエフ政権が核兵器獲得に向けた取り組みを公然と語っていたことも記憶に新しい。

米国と NATO は、我が国の国境付近に陸軍基地と秘密のバイオ研究所を急速に展開していた。作戦の過程で、彼らは将来の軍事作戦の舞台をマスターし、彼らが奴隷にしたキエフとウクライナの政権に大きな戦争の準備をさせていたのである。

そして今日、彼らはそれを認めている。公然と、公然と、恥じることなく、それを認めているのだ。まるで、ミンスク合意もノルマンディー方式も外交的なショー、はったりだと言って、自分たちの背信行為を誇り、喜んでいるようだ。ドンバスが燃え、血が流れ、ロシアが誠実に-私はこれを強調したい-平和的解決を誠実に求めていたとき、彼らは人々の命を弄んでいたことが判明した。

このうんざりするようなごまかしの手法は、これまでも何度も試されてきた。ユーゴスラビア、イラク、リビア、シリアを破壊する際にも、彼らは同じように恥知らずで二枚舌に振る舞った。彼らはこの恥辱を自ら洗い流すことはできないだろう。名誉、信頼、良識は、彼らにはないのです。

何世紀にもわたる植民地主義、独裁、覇権主義の間に、彼らはすべてを許されることに慣れ、全世界のことなど気にしないことに慣れた。彼らは自国の民衆を同じように軽蔑し、神のような態度で扱っていることがわかった。結局のところ、彼らはまた、平和の追求やドンバスに関する国連安保理決議の遵守に関する寓話で、皮肉にも彼らを騙したりしてきたのである。実際、西側エリートは、まっ

たく無原則な嘘の象徴と化している。

われわれは、自国の利益だけでなく、現代世界ではいわゆる文明国とそれ以外のすべての人々との間に区分があってはならず、誠実なパートナーシップが必要であり、特に攻撃的な排他性を原則的に拒否するという立場を堅く守っている。

我々は、西側諸国との建設的な対話に対してオープンかつ真摯な姿勢で臨んできた。我々は、欧州と全世界の双方が、すべての国家にとって不可分かつ平等な安全保障システムを必要としていると述べ、それを主張し、長年にわたり、このアイデアを共に議論し、その実現に向けて努力するようパートナーに申し出てきた。しかし、私たちが受け取った反応は、言葉足らずか偽善的なものでした。言葉としてはそこまでです。しかし、具体的な行動もありました。NATO の国境への拡大、ヨーロッパとアジアでの新たなミサイル防衛拠点の創設-彼らは我々から身を守るために「傘」を使うことを決めたのです-、ロシアの国境付近だけではない軍事部隊の配備です。

私は、米国ほど海外に軍事基地を持っている国はないことを強調したい。世界中に、地球全体に、地図を見ればわかるように、何百もの基地があるのです。

中距離ミサイル条約を含む基本的な軍備協定から手を引き、世界の平和を維持するための基本的な協定を一方向的に破棄しているのを全世界が目撃しているのです。彼らは何らかの理由で行ったのです。ご存知のように、彼らは無駄なことは行いません。

ようやく 2021 年 12 月、米国と NATO に安全保障に関する条約案を正式に送りました。しかし、本来、我々にとって原則的な重要なポジションについては、すべて真っ向から拒否されました。そして、攻撃的な計画の実行にゴーサインが出され、それが止まることはないということが、ようやく明らかになったのです。

脅威は、日を迫うごとに増していた。2022 年 2 月までに、ドンバスで再び血なまぐさい懲罰的な行動を起こす準備がすべて整っていたことは疑いようがなかった。それに対して、キエフ政権は 2014 年に大砲、戦車、飛行機を投げつけたと記憶している。

私たちは皆、ドネツクに対する空爆、ドネツクだけでなく他の都市に対する空爆の写真をよく覚えています。2015 年、彼らは再びドンバスへの直接攻撃を試み、

封鎖、砲撃、民間人に対するテロを続けました。これらすべては、国連安全保障理事会が採択した関連文書や決議と完全に矛盾しており、完全に - 誰もが何も起こっていないふりをしたことを思い出してください。

繰り返して言うが、戦争を始めたのは彼らであり、我々はそれを阻止するために武力を行使したし、今後も行使する。

ドネツク、ドンバス、ルハンスクへの新たな攻撃を計画していた者たちは、次の標的がクリミアとセヴァストポリへの攻撃であることを明確に理解していたし、私たちもそれを知っていた、理解していたのだ。そして今、このような遠大な計画もキエフで公然と語られています。私たちがすでによく知っていたことが明らかになったのです。

私たちは、人々の命、自分たちの家を守っているのです。そして、西側の目標は無制限のパワーです。キエフ政権への迎合と武装のために、すでに1500億ドル以上を費やしている。比較のために：経済協力開発機構のデータによると、G7諸国は2020-2021年に世界の最貧国を支援するために約600億ドルを割り当てています。わかりやすいですね。でも、いつもお世話になっているはずの最貧国には、戦争で150、お金をもらう国には一定の服従条件をつけて60を出すんです。そして、貧困削減、持続可能な開発、エコロジーについての話はどこに行ったのでしょうか？それはすべてどこに行ってしまったのでしょうか？同時に、戦争のための資金の流れは弱まることはない。他国での混乱やクーデターを助長するために、また世界中で、どんな費用も惜しまない。

最近ミュンヘンで開かれた会議では、ロシアに対する非難が際限なく続いた。これは、いわゆる西側諸国が過去数十年にわたって行ってきたことを皆に忘れさせるために行われたという印象である。そして、彼らは瓶から魔物を取り出し、地域全体を混乱に陥れました。

アメリカの専門家自身が、戦争の結果として—この数字に注目していただきたいのですが、私たちが作り出したのではなく、アメリカ人が自ら出したものです—2001年以降にアメリカが行った戦争によって、約90万人が死亡し、3800万人以上が難民となった、と言っています。彼らは、人類の記憶からそのすべてを消し去り、何も起こらなかったことにしたいだけなのです。しかし、世界中の誰もがこのことを忘れていないし、これからも忘れることはないでしょう。

なぜなら、もちろん、危機に瀕しているのは何兆ドル、何十兆ドルという金であり、すべての人から盗み続ける機会であり、民主主義と自由についての言葉に隠れて、新自由主義と全体主義という本質的な価値観を押し付けるためだからだ。国や民族全体にレッテルを貼り、その指導者を公然と侮辱し、自国内の反対意見を弾圧し、汚職スキャンダル（私たちはスクリーンですべて見ている）から人々の注意をそらすために敵のイメージを作り出し、増大する国内の経済、社会、民族間の問題や矛盾から目をそらそうとしている。

1930年代、西側諸国はドイツでナチスが権力を握るための道を実際に開いたことを思い出してほしい。そして現代、彼らはウクライナを「反ロシア」に変えようとし始めたのです。このプロジェクトは、実は新しいものではありません。このプロジェクトのルーツは19世紀にあり、オーストリア・ハンガリー帝国やポーランドなどの国々で、ある目的のために生まれたのです—今日ウクライナと呼ばれているこれらの歴史的領土を、わが国から引き離すこと。それがこの目的である。新しいことも、目新しいこともなく、すべてが繰り返されている。

欧米は2014年のクーデターを支援することで、今日このプロジェクトを強行した。結局、クーデターは血なまぐさいもので、反国家的、反憲法的なもので、まるで何もなかったかのように、やらなければならないことのように、どれだけのお金が費やされたのかまで報道されたのです。ロシア恐怖症と極めて攻撃的なナショナリズムがイデオロギー的な基盤に置かれた。

最近、ウクライナ軍の旅団のひとつに、ヒトラー師団として「エーデルワイス」の名が与えられた。ユダヤ人の強制送還、捕虜の処刑、ユーゴスラビア、イタリア、チェコスロヴァキア、ギリシャのパルチザンに対する懲罰作戦に参加した。ウクライナ軍と国家警備隊は、ダス・ライヒ、デッドヘッド、ガリシアなどのSS部隊に特に人気があり、彼らもまた血まみれになっています。ウクライナの装甲車にはナチスドイツのドイツ国防軍の徽章が描かれている。

ネオナチは、自分たちを誰の後継者だと考えているのかを隠すことはない。西側の権力者が誰もこのことに気づかないのは驚くべきことである。なぜか？モーヴェ・トンと言っては失礼だが、彼らは気にも留めないからだ。彼らは、我々やロシアとの戦いで誰に賭けるかなんて気にもしていない。主な目的は、我々と戦うこと、我々の国と戦うことであり、したがって、誰もが利用される可能性がある。テロリストやネオナチ、はげ頭の悪魔でさえも、彼らの言いなりになり、ロシアに対する武器として機能する限り、神をも恐れずに利用することができる

のです。

「反ロシア」プロジェクトは、実際、わが国に対するレバニシスト政策の一部であり、わが国の国境近くに不安定と紛争の温床を作り出すためのものである。1930年代の当時も今も、その考えは同じだ。東方への侵略を指示し、ヨーロッパでの戦争を煽り、ライバルを他人の手で排除しようとするのである。

何度も言うように、我々はウクライナの人々と戦争をしているわけではありません。ウクライナの人々自身が、キエフ政権とその西側の主人たちの人質となり、彼らは実際にこの国を政治的、軍事的、経済的に占領し、数十年にわたってウクライナの産業を破壊し、その天然資源を略奪してきたのである。その論理的帰結は、社会の劣化、貧困と不平等の大幅な増加であった。そして、そのような状況では、当然ながら、軍事作戦のための材料を集めるのは容易である。誰も国民のことを考えず、虐殺の準備をし、最後には消耗品と化してしまったのです。悲しいかな、口に出しても怖いだけで、事実なのだ。

ウクライナ紛争を煽り、エスカレートさせ、犠牲者を増やした責任は、すべて西側エリート、そしてもちろん、ウクライナ国民が本質的に他人であるキエフの現政権にあるのである。今日のウクライナ政権は、自国の国益のためではなく、第三国の利益のために動いている。

欧米はウクライナを対露の叩き台として、また訓練場として利用しているのだ。西側諸国が敵対関係の流れを変えようとしていること、軍事供給を増やそうとしていることについては、いまさら触れない。西側の長距離システムがウクライナに到着すればするほど、われわれは脅威を国境から遠ざけることを余儀なくされるのである。これは当然のことです。

西側のエリートはその目標を隠していません。それは、彼らが言うように、直接的な演説ですが、「ロシアに戦略的敗北」を与えることです。これは何を意味するのだろうか。我々にとって、それは何を意味するのだろうか。それは、私たちがきっぱりと終わらせるということだ。つまり、彼らは局所的な紛争を世界的な対立の局面に転化させるつもりなのだ。私たちはこのように理解し、それに応じて対応する。この場合、すでに私たちの国の存亡にかかわる話だからだ。

しかし、彼らはまた、戦場でロシアに勝つことが不可能であることを意識せざるを得ず、我々に対してますます攻撃的な情報攻撃を行っている。ターゲットはも

ちろん若い人、若い世代です。ここでも彼らは常に嘘をつき、歴史的事実を捻じ曲げ、我々の文化、ロシア正教会、その他我が国の伝統的宗教組織への攻撃を止めない。

彼らが自分たちの国民に何をしているかを見てください。家族、文化的、国民的アイデンティティの破壊、倒錯、児童虐待、小児性愛さえ、彼らの生活の規範と宣言し、司祭、神父は同性婚を祝福するよう強要されているのです。好きなようにするがいい。ここで何を言いたいか。大人には好きなように生きる権利がある。ロシアでは常にそのように扱ってきたし、これからもそうする。誰も彼らの私生活に立ち入ることはできないし、そうするつもりもない。

しかし、私は彼らにこう言いたい。しかし、失礼ながら聖典を見てください。他のすべての世界宗教の主要な書物です。そこには、家族は男女の結合であることなど、すべてが書かれています。しかし、これらの聖典でさえ、今では疑問視されているのです。例えば、英国国教会では、性別にとらわれない神の考えを検討する予定であることが知られています（まだ予定ですが）。なんて言ったらいいんだろう。神は、彼らが「何をやっているのかわからない」ことを禁じているのです。

西洋の何百万人もの人々は、自分たちが本当の精神的破局に向かって導かれていることに気づいています。エリートは、はっきり言って、単に気が狂っているだけで、治療法はないようです。しかし、それは私が言ったように彼らの問題です。私たちには子供たちを守る義務があり、私たちはそれを実行します。私たちは子供たちを劣化と退化から守るのです。

西側諸国が我々の社会を弱体化させ、分裂させようとするのは明らかです。彼らは常に-私はこれを強調したい-自分の祖国を軽蔑するという同じ毒を持ち、この毒を喜んでお金を払う人たちに売ってお金を稼ごうとする国賊に賭けるのです。いつの時代もこうなのだ。

直接的に裏切る道を選び、私たちの社会の安全や国の領土保全に対してテロなどの犯罪を犯した者は、法的な責任を負うことになる。しかし、我々は、魔女狩りを行っていた、そして今も行っているキエフの政権や西側のエリートたちのようには決してならない。我々は、一步身を引いて祖国から背教した者たちと決着をつけるつもりはない。彼らの良心の呵責に耐え、それを背負って生きていくようにさせる。重要なことは、国民、ロシアの市民が彼らに道徳的な評価を与え

たということです。

多民族国家であるわが国の国民、市民の絶対多数が、特別軍事作戦について原則的な立場をとり、われわれが行っていることの意味を理解し、ドンバスを守るための行動を支持したことを、私は誇りに思っている—私たち全員が誇りに思っていると思う—。この支持は、何よりもまず、私たちの国民に歴史的に内在する真の愛国心を示すものであった。その尊厳と、一人ひとりが、そして私が強調したいのは、一人ひとりが祖国の運命と切り離すことのできない運命にあるという深い自覚において、それは驚くべきものです。

親愛なる皆様、私はロシアのすべての人々の勇気と決意に感謝し、我々の英雄たち、陸海軍の兵士と将校、ロスグバルディア、特殊部隊とすべての権力機構の職員、ドネツクとルハンスク部隊の戦士たち、志願兵、BARS 戦闘予備軍で戦う愛国者にありがとうと言いたと思います。

本日の演説で全員の名前を挙げることはできないことをお詫び申し上げます。この演説を準備していたとき、私はこれらの英雄的部隊の長い長いリストを書きましたが、今日の演説からは外しました。というのも、先ほど言ったように、全員の名前を挙げることは不可能であり、名前を挙げない人たちの気分を害すことを恐れるばかりだったからです。

防衛隊の両親、妻、家族、医師や救急隊員、負傷者を救う看護師、前線に物資を運ぶ鉄道員や運転手、要塞の建設や住宅、道路、民間施設の復旧を行う建設業者、今や 24 時間、数交代で働く防衛工場の労働者やエンジニア、国の食糧安全保障を確実にする農業労働者にも頭が下がります。

ロシアの若い世代、特に困難な、実際には最前線の状況で働く人々のことを真摯に考えている先生方、戦地や病院に来て兵士や将校を支援している文化人、前線や民間人を助けているボランティアの方々、ジャーナリスト、とりわけ前線を冒して全世界に真実を伝える戦争通信員、ロシア伝統宗教の牧師や軍司祭、その賢明な言葉が我々を支え、鼓舞している方々に感謝いたします。

ドネツク、ルガンスク人民共和国、ザポロージェ、ケルソン両州の人々に特別な言葉を捧げます。あなた方自身、親愛なる友人たち、あなた方は住民投票で将来を決め、ネオナチの脅威や恐怖にさらされながらも、近くで軍事作戦が行われている状況下で、確固たる選択をしたのですが、ロシアとともに、祖国とともにと

いう決意ほど強いものではありませんでした。

(拍手)

これがドネツク、ルハンスク人民共和国、ザポロージェ、ケルソンの住民に対する聴衆の反応であることを強調したいと思います。もう一度：彼らに頭を下げます。

我々は、これらの連邦の新たな構成主体における社会経済的再建と発展のための大規模なプログラムをすでに開始しており、今後も継続して構築していく予定です。特に、企業と雇用を回復し、再びロシアの内海となったアゾフ海の港を再建し、クリミアで行ったように、新しい近代的な道路を建設し、今やロシア全土と信頼できる陸路で結ばれるようにすることを話している。これらの計画はすべて、私たちの共同の努力によって必ずや実現されるでしょう。

今日、国内の各地域は、ドネツク、ルハンスク人民共和国、ザポロージェ、ケルソンの市、区、町に直接支援を行い、本当の兄弟姉妹のように誠実にそれを行っています。今、私たちは再び一緒になったので、さらに強くなり、私たちのこの土地に待望の平和を取り戻し、私たちの人々の安全を確保するために、あらゆることを行うつもりです。このために、先祖のために、子や孫の未来のために、歴史的正義の回復のために、民族の統一のために、私たちの英雄は今日も戦っているのです。

親愛なる友人たちよ、ロシアのために命を捧げた戦友たち、ネオナチと懲罰者の手によって銃殺された民間人、高齢者、女性、子どもたちの記憶に敬意を表していただきたいのです。

(1 分間の黙禱)

ありがとうございました。

戦死した兵士の妻、息子、娘、その両親にとって、祖国を守る立派な人たちを育てた、クラスノドンの若い衛兵のように、大祖国戦争でナチズムと戦い、ドンバスを守った若い男女のように、今どれほど耐え難い困難があるか、私たちは皆理解していますし、私も理解しています。彼らの勇気、不動心、偉大な不屈の精神と犠牲は、今日でも全ロシアに記憶されています。

私たちの義務は、愛する人を失った家族を支援し、子供たちを育て、教育と職業を与えることです。特別軍事作戦に参加するすべての人の家族は、常に注意を払い、配慮と名誉に包まれなければならない。彼らのニーズは、いかなるお役所仕事もなく、即座に対応されなければならない。

私は、特別な国家基金の設立を提案します。その任務は、戦死した兵士や特殊軍事作戦の退役軍人の家族に、的を絞った個人的な支援を提供することである。社会的、医療的、心理的支援の提供を調整し、温泉治療とリハビリテーションの問題を解決し、教育、スポーツ、雇用、起業、訓練、再教育の分野で支援を提供することになります。この基金のもう一つの重要な任務は、在宅での長期介護、それを必要とするすべての人々のためのハイテク補装具を組織化することである。

私は、政府に対して、国務院社会政策委員会および地方とともに、すべての組織上の問題をできるだけ早く解決するよう要請します。

国家基金の業務はオープンであるべきで、支援の提供手続きは「ワン・ストップ・ショップ」の原則に基づき、官僚主義やお役所仕事はなく、シンプルであるべきです。各家族、つまり亡くなった人の家族、退役軍人には、個人的なコミュニケーションを通じてリアルタイムで問題を解決するソーシャルワーカー、つまりコーディネーターを配置すべきです。今年、ロシア連邦の全地域で基金の仕組みが展開されることに注目していただきたいと思います。

大祖国戦争の退役軍人や戦闘員、地域の紛争に巻き込まれた人たちを支援するための施策はすでに実施されています。将来的には、私が申し上げた政府基金が、こうした非常に重要な問題を担う可能性もあると思います。私たちはこのことに取り組む必要があり、政府にそれをお願いしています。

強調したいのは、特別な基金を創設しても、他の機構やレベルの政府の責任が免除されるわけではないということです。私は、すべての連邦省庁、地域、自治体が、退役軍人、軍属、およびその家族に対して最大限の注意を払い続けることを期待しています。この点で、私は、接触線まで足を運ぶ人々を含め、常に人々と会い、同胞を支えている地域のリーダー、市長、首長たちに感謝したいと思います。

特に強調したいことは何ですか？今、前線では、プロの軍人も、動員された人も、

ボランティアも、共に苦労を背負っています。物資や装備、傷に対する手当や保険金、そして医療。しかし、私や知事が受ける、つまり私にも報告される、軍の検察庁や人権オンブズマンへの訴えは、これらの問題のすべてが解決されたわけではないことを示している。個々のケースを整理する必要があるのです。

そしてもうひとつ、軍事作戦特別区域での勤務は、誰もがよく理解しているように、身体的・心理的に大きなストレスと結びつき、健康や生命に対するリスクが日々生じるものです。したがって、すべての兵士が家族を訪問し、親戚や愛する人と一緒に過ごす機会を持てるよう、動員軍人、そして一般的にはボランティアを含む特別軍事作戦のすべての参加者のために、少なくとも半年に一度、移動時間を考慮しない14日間の定期休暇を設ける必要があると私は考えています。

親愛なる同僚の皆さん。

ご存知のように、大統領令により、2021-2025年の軍隊の建設と発展に関する計画が決定されました。これを実施するための作業が進行中であり、必要な調整が行われています。そして、陸海軍の強化のための今後の措置と、継続的かつ将来の軍備の発展は、必ずや特別軍事作戦で得られた実際の戦闘経験に基づくべきであることを、私は強調したいのです。それは私たちにとって極めて重要なことであり、さらに言えば、絶対にかげがえのないことなのです。

例えば、今現在、ロシアの核抑止力の最新システムによる装備レベルは91パーセント以上、91.3パーセントである。そして今、繰り返しになりますが、私たちが得た経験を踏まえ、軍隊のすべての構成要素において、同じように高い品質レベルに到達しなければならないのです。

有能で、近代的で、毅然とした指揮官として卓越した将校や曹長-その数は多い-は、優先的に上位の階級や高等軍事学校に昇進させ、軍隊の強力な幹部予備軍として機能させることになるのです。そしてもちろん、彼らは政府のあらゆるレベルで求められる存在でなければならない。私は単純に、同僚たちの注意を喚起したいのです。これは非常に重要なことです。国民は、祖国が祖国を守るための貢献を高く評価していることを理解しなければなりません。

私たちは、陸軍と海軍の質的ポテンシャルを高める最先端の技術を積極的に導入していくつもりです。私たちは、あらゆる分野でそのような開発品や武器・装備のサンプルを保有しています。それらの多くは、外国の類似品よりかなり優れ

ている。今の課題は、その大量生産、連続生産を開始することです。この作業は、中小のハイテク企業が国防関連の受注に積極的に参加することで、ロシア独自の科学・産業基盤によって行われていることを強調したいと思います。

現在、私たちの工場、設計事務所、研究チームは、経験豊富な専門家と、才能と資格を持ち、突破口を開くことに集中し、ロシアの銃製造者の伝統に忠実な、勝つために何でもする若い人々の両方を、ますます多く雇用しています。

私たちは、労働力の保証を必ず強化します。これは、給与や社会保障にも適用されます。防衛産業で働く労働者のために、賃貸住宅を優遇する特別プログラムを立ち上げることを提案します。家賃のかなりの部分を国が負担することになるので、彼らの家賃は市場価格よりかなり安くなります。

私たちはこの問題について、確かに政府と議論してきました。私は、このプログラムの詳細をすべて決定し、遅滞なく、こうした賃貸住宅の建設を開始するよう指示します。もちろん、何よりもまず、重要な防衛、産業、研究の中心地がある都市で、です。

同僚、紳士淑女の皆さん。

すでに述べたように、西側諸国は我々に対して、軍事、情報だけでなく、経済戦線も展開しています。しかし、それは何の成果もあげておらず、また、どこにも成果をあげることはできないでしょう。さらに、制裁を始めた者たちは自らを罰している。自国の物価上昇、雇用喪失、企業閉鎖、エネルギー危機を引き起こし、国民には、ロシアがすべての責任を負うと言われている（私たちはそれを聞いている）。

この制裁攻撃では、私たちに対してどのような手段が使われたのだろうか。ロシア企業との経済的なつながりを断ち、金融システムの通信手段を断ち、我々の経済を圧迫し、輸出市場へのアクセスを奪い、我々の収入に打撃を与えようとしたのである。これには、外貨準備の窃盗、ルーブルの暴落、壊滅的なインフレの誘発も含まれます（他に言いようがありません）。

繰り返すが、反ロシア制裁は目的のための手段に過ぎない。欧米の指導者たちが自ら宣言しているように（直接引用）、その目的は「国民を苦しめる」ことである。「国民を苦しめる」-そんなヒューマニストたちがいる。国民を苦しめて、

社会を内部から不安定にしようというのだ。

しかし、彼らの目論見は現実のものとならなかった。ロシアの経済と統治システムは、西側諸国が考えていたよりもはるかに強力であることが証明されたのである。政府、議会、ロシア銀行、連邦の各地域、そしてもちろん経済界と労働組合の共同努力のおかげで、我々は経済状況の持続性を確保し、国民を保護し、雇用を守り、必需品を含む市場の不足を防ぎ、金融システムと事業の発展、ひいては我が国の発展のために投資する企業家を支援することができた。

このため、我々は昨年3月、約1兆ルーブルに相当するビジネスおよび経済支援策を打ち出しました。断っておきますが、これは排出権政策ではありません。いやいや、わが国ではすべて、しっかりとした市場原理に基づいて行われているのです。

2022年末、国内総生産は減少した。ミハイル・ウラジーミロビッチから電話があり、こう言いました: 教えてほしい。昨日、この情報が出てきたと思いますが、まさに予定通り、すべては計画通りです。

私たちは、20~25%の経済減速について予言されてきました、思い出してください、10%です。つい最近、私たちは2.9と言いました。その少し後に、2.5。2022年の国内総生産は2.1%減少した—これが直近のデータです。同時に、昨年2月、3月の時点では、やはり経済の崩壊を予測していたことを思い出してください。

ロシアのビジネスは、物流を立て直し、責任ある予測可能なパートナーとの関係を強化しました。

国際決済におけるロシア・ルーブルのシェアは2021年12月に比べて倍増し、3分の1に達し、友好国通貨と合わせると半分以上となったことを記しておかなければなりません。

我々は、西側のエリートや支配者の政策から必然的に普遍性を失うことになるドルや他の西側準備通貨に依存しない、安定的で安全な国際決済システムを確立するために、パートナーとともに努力を続けていきます。私たちは、自分たちの手でそれをすべて行っているのです。ドルやその他のいわゆるユニバーサル通貨を減らしているのは私たちではなく、すべて自分たちの手でやっているの

です。

石油の代わりに大砲というような俗な表現がありますよね。国の防衛はもちろん最重要課題ですが、この分野の戦略的課題に取り組むにあたって、過去の失敗を繰り返してはなりませんし、自国の経済を破壊してはなりません。私たちは、安全を確保し、この国が着実に発展するための条件を整えるために必要なものはすべて持っています。このような論理で私たちは行動していますし、これからもそうしていくでしょう。

たとえば、昨年、国民経済のいくつかの主要な、私は民生部門を強調したいのですが、その生産高は減少するばかりでなく、著しく増加しました。住宅建設は、わが国の近代史で初めて1億平方メートルを超えました。

農業生産に関しても、昨年は2桁の伸びを示しました。どうもありがとうございました、農家の方々にお辞儀をして。ロシアの農家は記録的な収穫をしました。1億トン以上の小麦を含む1億5千万トン以上の穀物を収穫したのです。農業年度末、つまり2023年6月30日までに、穀物輸出の総量を55億6000万トンにすることができるだろう。

10~15年前は、まるでおとぎ話のような、絶対に実現不可能な計画のように思えた。思い起こせば-きっとここにいる何人かは覚えているでしょう、前副総理兼農業大臣がここにあります-少し前までは、一般的に6千万が収穫されていました-毎年、そして今は輸出可能量だけでも5千5百万から6千万になるでしょう。私は、他の分野でも同様の躍進を遂げるあらゆる機会があると確信しています。

私たちは、労働市場の低迷を許さず、それどころか、現代の条件下で失業率を下げることに成功しました。今日、あらゆる面で大きな困難がある中で、私たちの労働市場は以前より快適になっています。パンデミック以前は、失業率は4.7%でしたが、現在は3.7%だと思います。大統領、3.7とは何ですか？3.7は歴史的な低水準です。

繰り返しになりますが、ロシア経済は顕在化したリスクを克服したのです。そう、これらのリスクの多くは事前に計算することができなかったのです。私たちは問題が発生すると、文字通りその場で対応せざるを得なかったのです。政府レベルでも企業レベルでも、可能な限り迅速に意思決定がなされました。ここで注目したいのは、民間主導、中小企業の役割が非常に大きかったということです。過

度な行政規制や国家に有利な偏った経済を避けることができたのです。

他に重要なことは？昨年、景気の悪化が記録されたのは第2四半期だけで、第3四半期と第4四半期は成長を遂げました。実際、経済成長の新しいサイクルに入りました。専門家によれば、そのモデルや構造は質的に異なってきているとのこと。APR（アジア太平洋地域）を含む新しく有望な世界市場、自国の国内市場、科学技術や人的資源の基盤が前面に出てきている。原材料の海外供給ではなく、高付加価値の商品の生産が求められているのである。これにより、あらゆる分野、領域でロシアの大きな潜在力を引き出すことができる。

早ければ今年中に内需の堅調な伸びが予想される。この機会を利用して、わが社は増産し、最も人気のある製品を生産し、欧米企業が撤退した後に空いた、あるいは空けられようとしているニッチを占めることができると確信している。

今日、私たちは全体像が見え、物流、技術、財務、人材など解決しなければならない構造的な問題を理解しています。我々は近年、経済の構造を変える必要性について大いに語ってきたが、今やこうした変化は必要不可欠なものであり、状況を変えつつあり、この場合、より良い方向へと向かっている。ロシアが着実に発展し、あらゆる外部からの圧力や脅威にもかかわらず、国家の安全と利益を確実に保証し、主権的で独立した発展を遂げるためには、何をすべきかを私たちは知っています。

強調したいのは、私たちの仕事のポイントは、現状に適応することではないということです。戦略的な課題は、我々の経済を新しいフロンティアへと導くことです。今はすべてが変化しており、しかも非常に速いスピードで変化しています。今は、チャレンジの時代であると同時に、チャンスの時代でもあるのです。私たちは、部門間の矛盾、形式、恨み、誤解、その他ナンセンスなものをすべて取り除かなければなりません--これを強調したいのです。すべては大義のため、すべては結果のため、これがすべての目指すべき姿である。

ロシア企業や小さな家族経営の企業が成功裏に立ち上がることは、すでに勝利である。近代的な工場や何キロも続く新しい道路が開通すること、これも勝利だ。新しい学校や幼稚園も勝利である。科学的発見や技術も、もちろん勝利である。全体の成功に対するみんなの貢献が重要なのです。

国、地方、国内企業の連携作業はどこに重点を置けばいいのでしょうか。

まず一つ目。有望な対外経済関係を拡大し、新たな物流回廊を構築します。すでにモスクワ-カザン高速道路をエカテリンブルク、チェリャビンスク、チューメンまで、将来はイルクーツク、ウラジオストクまで延長し、カザフスタン、モンゴル、中国にアクセスすることを決定し、東南アジアの市場との経済関係を大幅に拡大する。

黒海とアゾフ海の港を開発する。南北の国際回廊には特に注意を払う。すでに今年、喫水 4.5 メートル以上の船舶がヴォルガ-カスピ海水路を通過できるようになる予定です。これにより、インド、イラン、パキスタン、中東諸国とのビジネス協力のための新しいルートが開かれることとなります。私たちは、この回廊の開発を続けていくつもりです。

私たちの計画では、鉄道の東方面、シベリア鉄道とバイカル・アムール鉄道の近代化を加速し、北洋航路の容量を増やすことも計画しています。これらは貨物の流れを増やすだけでなく、シベリア、北極圏、極東を発展させるという国家的課題を解決するための基礎となるものです。

通信、テレコミュニケーション、道路網などの地域インフラも大きく後押しされることになる。来年 2024 年までに、ロシアの主要都市中心部の道路の 85% 以上、地域・自治体間道路の半数以上が適切な状態になるようにします。私は、そうすることに自信を持っています。

また、無料ガス化計画も継続する。幼稚園や学校、診療所、病院、医療機関、産科などの社会施設にも拡大することがすでに決定しています。市民はいつでもガス供給ネットワークへの接続を申し込むことができるのです。

今年から、住宅と公共設備の建設と修繕のための大規模なプログラムが始まります。今後 10 年間で、この分野に少なくとも 4 兆 5 千億ルーブルを投資する予定です。私たちは、これが市民にとっていかに重要であるか、この分野がいかに無視されているかを知っています。このプログラムが好調なスタートを切ることが重要ですので、政府には安定した資金を確保するようお願いいたします。

第二に ロシア経済の技術力を大幅に拡大し、国内産業の成長を確保する必要があります。

我々は産業担保プログラムを立ち上げ、今後は生産設備の購入だけでなく、その建設や近代化にもソフトローンを利用できるようにします。このような融資の額は何度も議論され、増やしたいと思っていました。第一段階として、最大5億ルーブルという非常に良い額になっています。5億ルーブルを上限とし、3%または5%の利率で最長7年間融資します。非常に良い制度だと思いますので、ぜひ活用しましょう。

また、今年から産業クラスターに対する新しい制度が導入され、入居企業の財政・事務負担が軽減され、市場に出たばかりの革新的な製品の需要が、政府からの長期受注と補助金で支えられています。

これらの施策により、2030年までに10兆ルーブルを超える需要のあるプロジェクトの実施が確実視されており、早ければ今年中に約2兆ルーブルの投資が見込まれています。これは単なる予測ではなく、明確に設定されたベンチマークであることを指摘したいと思います。

だからこそ、政府には、これらのプロジェクトの立ち上げをできるだけ早め、経済界に肩入れし、税制上の優遇措置も含めた体系的な支援策を講じるようお願いしたい。税制は全体的であるべきで、ニッチや免除はあってはならない。しかし、この場合、創造的なアプローチが必要だ。

例えば、今年からロシア企業は、国内の先進的なITソリューションや人工知能を使った製品を購入すれば、利潤税の支払いを減らすことができるようになった。しかも、これらの経費は実費の1.5倍と高い係数で考慮される。つまり、先ほど申し上げたような製品を購入するために企業が投資した金額1ルーブルに対して、1.5ルーブルの税額控除があるのです。

このような税制優遇措置を、ロシアのハイテク機器購入全般に拡大することを提案したい。そのような機器が使用される産業別のリストと、免除を与えるための手続きについての提案を政府に提出するようお願いしたい。これは、経済を活性化させる良い解決策である。

第3に 経済成長の発展のためのアジェンダの中で最も重要な問題は、新しい投資資金源である、我々はそれについてもよく話している。

強力な国際収支のおかげで、ロシアは外国に借金をし、頭を下げ、金をせびり、

何を、いくらで、どういう条件で返すかについて長い対話をする必要がないのです。国内の銀行は、しっかりとした安全マージンを確保しながら、安定的かつ持続的に働いている。

2022年、銀行の企業向け融資額が伸びた。これにはいろいろな危惧がありましたが、伸びは記録され、14%増となり、軍事作戦がない2021年よりも増えています。2021年は11.7%でしたが、今は14%です。住宅ローンのポートフォリオも20.4パーセント増えています。発展が進んでいる。

昨年は銀行セクター全体が利益をあげました。確かに、例年ほどではありませんが、2030億ルーブルの利益と、まずまずの規模でした。これは、ロシアの金融セクターの持続可能性を示す指標でもある。

ロシアのインフレ率は、早ければ今年の第2四半期に目標の4%に近づくとされています。欧州連合諸国では12%、17%、20%のところもあるが、わが国では4%か5%—中央銀行と財務省の間で整理中—だが、目標に近づくだらうことを思い起こしてほしい。このように、マクロ経済のパラメーターがポジティブな動きを見せていることから、経済における長期貸出金利を引き下げる客観的な条件が整いつつあり、実物部門に対する信用がより利用しやすくなるはずで

国民の長期貯蓄は世界中どこでも重要な投資資源であり、その投資部門への流入を促進することも必要である。私は、政府に対し、早ければこの4月にも、対応する国家プログラムを立ち上げるための法律の草案を国家議会に提出するよう要請する。

国民が自国内で投資し、収入を得るためのさらなる条件を整備することが重要です。同時に、国民の自主的な年金貯蓄の投資の安全性を保証することが必要である。銀行の預金保険制度と同じような仕組みが必要です。100万ルーブルと40万ルーブルまでの預金は、国によって保険がかけられ、その返還が保証されていることを思い出してほしい。私は、任意年金貯蓄の額を2倍の2008万ルーブルまでとすることを提案します。また、他の長期投資商品への国民の投資も、金融仲介業者の破綻の可能性を含めて保護する必要があります。

急成長しているハイテク企業に資本を呼び込むには、別の解決策が必要です。そのためには、国内株式市場での株式公開を支援し、企業と株式購入者の双方に対する税制上の優遇措置を講じる。

経済主権の最も重要な要素は、企業家精神の自由である。繰り返しになるが、ロシアを封じ込めようとする外部からの試みの中で、急速に変化する環境に適応し、厳しい環境の中で経済成長を確保する方法を知っていることを証明したのは民間企業である。ですから、国のためになるようなビジネス・イニシアティブは、すべて支援されるべきです。

この点で、いわゆる経済コーポラティブに関して、刑法のいくつかの規定を見直すという問題を再検討することは正しいと思います。もちろん、国家はこの分野で何が起きているかをコントロールしなければならないし、この分野での容認は許されないが、行き過ぎる必要はないだろう。私が述べた非犯罪化に向けてより積極的に動くことが必要である。私は、政府が、国会、法執行機関、企業団体とともに、この作業を一貫して徹底的に実行することを期待しています。

同時に、政府には、国会と緊密に連絡を取りながら、経済の非犯罪化のプロセスを加速するための追加的な措置を提案することを求めます。ビジネス、とりわけ主要な部門や産業は、ロシアの管轄下で運営されるべきである-これは基本的な原則である。

この点に関して、親愛なる同僚たちよ、小さな哲学的な余談がある。別に何を言いたいかというと。

私たちは、ソ連経済末期の問題やアンバランスを覚えています。ですから、ソビエト連邦、その計画システムの崩壊後、1990年代の混乱の中で、市場関係、私有財産に基づく経済を作り始めたのです-一般的に、そして当然のことですが。ご存知のように、西側諸国には10数人の顧問がいて、彼らのモデルを真似るだけで十分だと思われたのです。ロシア経済をどう発展させるかについて、ヨーロッパ人とアメリカ人が議論したのを覚えています。

その結果、どうなったか。ロシア経済は、主に原材料の供給源として西側諸国を指向するようになった。もちろん、いろいろなニュアンスはありますが、全体としては、原料の供給源としてということです。その理由も明らかだ。新しく登場したロシアのビジネスは、当然のことながら、他のすべての国のビジネスと同様に、利益を上げることに主眼が置かれ、しかもそれが手っ取り早く簡単にできたのである。そして、それは何をもたらしたか。石油、ガス、金属、木材など、まさに資源の販売である。

それを考える人が少なかったのか、長期的な投資をする機会がなかったのか、他のもっと複雑な経済分野がうまく発展しなかったのです。そして、この負のトレンドを断ち切るために、すべての政府で、誰もが完全に見抜いていたのですが、私たちは何年もかけて、税制の調整と大規模な公共投資を行いました。

私たちはここで、目に見える真の変化を達成したのです。しかし、私たちのビジネス、特に大企業が発展してきた状況を考慮する必要があります。技術は西洋にあり、安い資金源と有利な市場は西洋にあり、当然、資本も西洋に流れ始めた。しかし、残念ながら、彼らは生産を拡大し、設備や技術を購入し、ここロシアで新しい雇用を生み出す代わりに、海外の邸宅やヨット、高級不動産にその資金を使ってしまった。

もちろん、その後、開発のための投資を始めたのですが、最初の段階では、すべてが消費のために大々的に行われたのです。富があれば当然、子どもたちがいて、彼らの教育、生活、将来がある。そして、このような発展を国家が監視し、阻止することは非常に困難であり、ほとんど不可能でした。

資本の安全な避難所、避難所としての欧米のイメージは、幻であり、偽物であることが判明したのである。ロシアを収入源としてしか見ず、主に外国で生活しようと考えていた人たちは、多くのものを失った。

かつて、冗談で-覚えている人も多いただろう-ロシアのビジネスマンに言ったことがある。「金を守ろうとして、裁判所や欧米の役人の事務所を走り回り、埃を飲み込むのに疲れるだろうね」。そして、まさにその通りになったのです。

この国の普通の市民は、外国の銀行でお金を失った人たちに同情せず、ヨットや海外の宮殿を失った人たちに同情せず、..... というように、単純だが非常に重要なことを付け加えたいと思う。一方、台所で会話していると、おそらく90年代の民営化、つまり国全体で築いた企業がほとんどゼロで売却され、いわゆる新しいエリートたちの派手で見せかけの贅沢が思い起こされる。

他に重要なことは何だろうか。ソビエト連邦の崩壊以来ずっと、西側諸国はソビエト連邦後の国々を焼き尽くし、さらに重要なことに、歴史的國家の最大の存続部分であるロシアをついに終わらせようとする試みを放棄していない。彼らは国際テロリストを奨励し、私たちに罪を着せ、国境沿いの地域紛争を誘発し、私

たちの利益を無視し、経済的抑止力と弾圧を利用した。

そして、ロシアの大企業は-私がこのようなことを言っているのは-戦略的企業の運営、何千もの労働者集団に責任があり、多くの地域の社会・経済状況を決定している。つまり、そのような企業の経営者やオーナーが、ロシアに対して非友好的政策を追求する政府に依存していると気付いたとき、それは我々にとって大きな脅威、危険-我が国への危険となるのである。

そのような状況を容認することはできない。

口座が封鎖された逮捕された邸宅で日々を過ごしたい人もいるだろうし、魅力的な西側の首都やリゾート地、海外の暖かい場所に居場所を見つけようとする人もいるだろう - それはどんな人の権利であり、我々はそれを侵害するものでもないのだ。しかし、西洋にとって、このような人々は、これまでも、そしてこれから、何でもできる二流のアウトサイダーであり、金やコネや、買った伯爵、貴族、市長の肩書きはまったく役に立たないことを理解する 때가来たのである。彼らは理解しなければならない。そこでは彼らは二流なのだ。

しかし、もう一つの選択肢がある。祖国とともにあり、同胞のために働き、新しい企業を立ち上げるだけでなく、彼らの周りの生活、つまり彼らの都市や村、国の生活を変えていくのだ。そして、そのような起業家、ビジネスにおける真のファイターがたくさんいます。繁栄の源も未来も、ここ、母国ロシアにあるのだということを、誰もが理解しなければならない。

そうすれば、世界から閉ざされることなく、自国の強みを生かした自給自足の経済が実現する。ロシアの資本、ここで生まれたお金は、国のために、国の発展のために働かなければなりません。現在、私たちはインフラ整備、製造業、国内観光業など、さまざまな分野で大きな可能性を持っています。

西側諸国のオオカミのような習慣に直面したことがある人たちに聞いてもらいたい。手を広げて走り回り、ひれ伏して金をせびるのは無意味であり、特に相手が誰であるかをよく理解している今、最も重要なことは無駄である。今、過去にしがみついて、お金のために訴えようとしても無駄なことです。なぜなら、あなた方は強い人たちであり、個人的にも長年にわたって多くの人たちを知っているからです。

新しいプロジェクトを立ち上げ、お金を稼ぎ、ロシアに投資し、企業や雇用に投

資し、学校や大学、科学や医療、文化やスポーツを支援する。そうやって資本を増やし、一世代先まで人々の評価と感謝を得るのです。国や社会は必ずあなたを応援してくれます。

私たちのビジネスが正しい方向に向かうための訓戒として考えてみましょう。

親愛なる同僚の皆さん!

ロシアは開かれた国であると同時に、独自の文明を持つ国です。しかし、この文明は私たちのものであり、それが重要なのです。私たちの祖先が受け継いできたものであり、私たちはそれを子孫のために守り、継承していかなければならないのです。

私たちは、友人たち、協力してくれるすべての人たちと協力関係を発展させ、その最良のものを採用していきますが、何よりも私たち自身の可能性、ロシア社会の創造的エネルギー、私たち自身の伝統と価値観に頼っていくのです。

そしてここで、私たちの国民の性格についてお話したいと思います。彼らは常に、寛大さ、寛容さ、慈悲、そして思いやりの心で際立っており、ロシアという国は、これらの特徴を完全に自らに反映しているのです。私たちは、友人となる方法を知っており、約束を守り、誰も失望させることなく、困難な状況でも常に彼らの側にいて、困っている人を助けに行くことをためらうことはありません。

パンデミックの際、コビッドが発生した最も困難な数週間間に、イタリアをはじめとするいくつかのヨーロッパ諸国を、事実上、最初に支援したことを誰もが覚えていることだろう。また、シリアやトルコで起きた地震の際に、私たちがどのように支援に向かったかも忘れてはなりません。

国の主権の基盤であり、力の源であるのは、ロシアの国民です。国民の権利と自由は侵すことのできないものであり、憲法によって保証されています。外的な挑戦や脅威があっても、私たちはそこから退くことはありません。

その関連で、今年 9 月の地方選挙と地域選挙、そして 2024 年の大統領選挙は、法律を厳密に遵守し、すべての民主的、憲法上の手続きに沿って行われることを強調したい。

選挙は常に、社会的・経済的問題の解決に向けたさまざまなアプローチを意味します。同時に、主要な政治勢力は、主要なものにおいて統合され、団結しており、私たち全員にとって主要で基本的なものは、国民の安全と幸福、主権と国益である。

私は、この責任ある確固たる姿勢に感謝し、愛国者であり政治家であるピョートル・アルカディエヴィチ・ストーリピンの言葉を思い出したい。この言葉は、100年以上前に国家議会で発せられたが、今の時代に非常にマッチしているものである。彼はこう言った。「ロシアを守るためには、われわれはみな力を合わせ、努力と義務と権利を調整し、一つの歴史的な至高の権利、すなわちロシアが強くなる権利を守らなければならない。」

現在最前線にいるボランティアの中には、国家議会や地方議会の議員、各レベルの行政機関の代表者、自治体、都市、地区、農村集落が含まれています。すべての議会関係者と有力な公共団体が、人道的物資の収集と前線への支援に参加しています。

あらためて感謝します。この愛国的な姿勢に感謝します。

地方自治、つまり住民に最も近いレベルの公権力は、市民社会を強化し、日常的な問題を解決する上で非常に大きな役割を担っています。国家全体への信頼、市民の社会的福利、そして国全体の成功的発展への信頼は、その働きに大きく依存しています。

私は、大統領府が政府とともに、大・中・小の自治体における最良の経営チームとその実践を直接支援する手段の創設に関する提案を提出するよう求めます。

社会の自由な発展とは、自分自身や愛する人たち、そして国に対して責任を持つ覚悟を持つことです。このような資質は、子供の頃、家庭の中で始まります。もちろん、教育制度や国の文化は、私たちの共通の価値観や国のアイデンティティを確立するために非常に重要です。

大統領は、大統領助成基金、文化イニシャティブ基金、インターネット開発研究所などの資源を使って、現代芸術と伝統芸術、リアリズムと前衛、古典と革新など、あらゆる形態の創造的探求を支援していきます。ジャンルや流行にこだわるものではありません。文化には、善、美、調和に奉仕し、時には非常に複雑で議

論を呼ぶような人生の問題を考察し、最も重要なことは、社会を破壊するのではなく、人間の最高の資質を目覚めさせるという使命があるのです。

ドンバスとノボロシヤの平和な生活の復活には、文化分野の発展が優先事項のひとつとなるでしょう。博物館のコレクションや建物など、過去と現在の相互関係を感じさせ、未来につなげ、何世紀も続く偉大なロシアの一つの文化的、歴史的、教育的空間に属していることを実感させるような、何百もの文化施設をここで修復、修理、設備する必要があるのである。

私たちは、若者がロシア、その偉大な過去、私たちの文化や伝統についてできるだけ多く学べるように、主に歴史、社会科学、文学、地理などの人文科学の学校や大学の授業の質を真剣に改善しなければなりません。

私たちには、科学、文化、社会問題、ビジネス、行政の分野で国のために働く準備ができている、非常に優秀な若い世代がいる。このような人たちのために、「ロシアのリーダー」コンテストや、現在、連邦の新しい構成組織で行われている「ルネサンス・リーダーズ」コンテストは、専門家としての成長のための新しい地平を切り開いているのです。

これらのプロジェクトの受賞者やファイナリストの中には、戦闘部隊に志願した者も多く、その多くが現在、解放地域で経済・社会状況の改善に貢献しながら、プロフェッショナルとして決意と勇気をもって活動していることを指摘したいと思います。

一般に、戦闘作戦の学校に代わるものはありません。そこから出てきた人たちは、どこで働いてしようと、祖国のために命を捧げる覚悟があるのです。

ドンバスやノボロシヤで生まれ育ち、そのために戦った人たちが、これらの地域を発展させる仕事全般において、主な支えとなり、主柱となるべきであると強調したい。私は彼らに向かって、「ロシアはあなたを頼りにしていますよ」と言いたいのです。

我が国が直面している困難な課題を考えると、人材育成制度や科学技術政策のあり方を大きく見直す必要がある。

先日の科学教育会議では、優先順位を明確に定め、特に輸送、エネルギー、住宅・

公共施設、医療、農業、産業など、国の存続に関わる重要な分野で、根本的に重要な科学的成果を生み出すことに資源を集中する必要があることとお話ししました。

新しい技術は、ほとんどの場合、一度行われた基礎研究に基づいています。この分野では、文化の分野と同様に、科学者や研究者にもっと自由に創造性を発揮してもらわなければなりません—私はこのことを強調したいのです。私たちは皆、明日の成果を求めるプロクラステスのベッドに押し込まれるわけにはいかないのです。基礎科学には独自の法則があります。

野心的な課題を設定し、それを解決することは、若い人たちが科学の道に進む強力な動機付けとなり、自分がリーダーであること、世界一であることを証明する機会となることを付け加えたいと思います。そして、私たちの科学チームは、多くの誇れるものを持っています。

昨年 12 月、私は若い研究者たちと会いました。その際、彼らが挙げた質問のひとつに、住居に関するものがありました。そういう散文的なものですが、重要なことなのです。すでに若手研究者のための住居証明書を用意しています。昨年、この目的のために 10 億ルーブルが追加で割り当てられました。私は政府に対し、このプログラムを拡大するための準備金を特定するよう指示します。

近年、中等職業教育の名声と権威は著しく高まっている。技術学校や専門学校の卒業生に対する需要は莫大である。失業率が 3.7% という歴史的な低さまで低下したということは、人々が働き、新しいスタッフが必要だということです。

その一環として、教育と生産のクラスターを作り、訓練施設を更新し、企業や雇用者が大学や専門学校と緊密に連絡を取り合いながら、経済のニーズに基づいた教育プログラムを形成する、プロフェッショナリズム・プロジェクトを大幅に拡大する必要があると私は考えています。そしてもちろん、実際の複雑な生産現場で経験を積んだ指導者がこの領域に来ることが非常に重要です。

目標は具体的です。今後 5 年間で、ロシアの安全保障、主権、競争力の鍵となるエレクトロニクス、ロボット、機械製造、冶金、製薬、農業・軍産複合体、建設、輸送、原子力などの産業向けに約 100 万人の熟練労働者を育成しなければならないのです。

最後に、非常に重要な問題として、高等教育制度がある。経済、社会部門、そして私たちの生活のあらゆる領域で専門家が新たに必要とされていることを考えると、ここでも大きな変化が必要である。ソ連の教育制度の長所と、ここ数十年の経験を統合することが必要である。

この観点から、私たちは次のことを提案する。

第一に-わが国の高等教育を受けた専門家の伝統的な基礎訓練に戻すことである。修業年限は4年から6年でよい。一つの職業、一つの大学の中でも、特定の職業、分野、労働市場の需要に応じて、異なる訓練期間のプログラムを提供することも可能である。

第二に、職業がさらなる訓練や専門性を必要とする場合、若者は修士課程やレジデンシー・プログラムで教育を継続することができる。

第三に、大学院は、科学や教育に携わる人材を育成するために、専門教育の別のレベルとして位置づけられることになる。

新制度への移行は円滑に行わなければならないことを強調したい。政府は、国会議員とともに、教育や労働市場などに関する法律を数多く改正する必要があります。私たちはこのことについて考え、細部にわたって作業を行う必要があります。若者たち、私たちの国民は、質の高い教育、雇用、専門的な成長のための新しい機会を得るべきです。繰り返しますが、問題ではなく、チャンスです。

そして、強調したいのは、現在学んでいる学生たちは、既存のプログラムのもとで教育を続けることができるということです。そして、すでに現在の学士、専門家、修士課程を修了した国民の訓練レベルと高等教育修了証は、改訂の対象とはならない。彼らはその権利を失ってはならない。私は、全ロシア人民戦線が、高等教育の変更に関するすべての問題を、その特別な管理下に置くよう要請します。

今年はロシアで「教師・指導者の年」と宣言されている。教師というのは、国の未来を築くことに直接関わっているのです。親が子供たちに教師への感謝をもっと語り、教師が親への尊敬と愛をもっと語るように、教師の公共性を高めていくことが重要なのです。

このことを常に忘れないようにしましょう。

私は、幼年期とロシアの家庭の支援に別途焦点を当てます。

近年、ロシアではいわゆる子ども予算、つまり家庭を支援するための予算支出が飛躍的に伸びていることを指摘しておきたいと思います。この国の主要な財政文書である予算、予算法の中で最も早く成長している部分である。このように国の優先事項が統一的に理解されていることに、国会議員や政府に感謝したいと思います。

2月1日から、ロシアの母子手帳は再び、私たちが言ったように、過去1年間の実際のインフレ率、つまり11.9%で指数化されました。新しい構成主体に住むロシア国民も、この支援措置の対象となった。ドネツク、ルハンスク両共和国、ザポロージェ、ケルソン両州で、2007年以降、つまりロシア全土でこのプログラムが導入されて以降に出産した家族に出産資金を提供することを提案します。クリミアとセヴァストポリの住民に対しても、やがて同じ決定を下したことを思い出してほしい。

私たちは、ロシアの家族の幸福を向上させることを目的とした大規模なプログラムを引き続き実施していきます。

私は、政府と連邦の構成主体が、ロシアの実質賃金の目に見える伸びを確保するという具体的な任務を自らに課していることを強調したい。

重要な指標、基準点となるのは、私たちがよく知っているように最低賃金である。昨年、最低賃金は2回引き上げられ、ほぼ20%上昇しました。

今後も、インフレ率や賃金の伸びを上回るペースで最低賃金を引き上げていく予定です。今年に入ってから、最低賃金は6.3パーセントのスライド制になっています。

来年1月1日には、予定していた引き上げに加え、さらに10パーセントの引き上げを提案します。従って、最低賃金は18.5%増の19,242ルーブルとなる。

昨年から、子どもが2人以上いる家庭で、より広いアパートや家を購入する場合、住居の売却にかかる税金が免除されています。

私たちは、このような手段をもっと積極的に使う必要があります。需要があることが証明されているのですから、家庭の予算が増え、家族が最も重要で緊急な問題を解決できるようになります。

私は、社会税の控除額を増やすことを提案します。子どもの教育費については、現在の年間5万ルーブルから11万ルーブルに、子ども自身の教育費、治療費や医薬品の購入費については、12万ルーブルから15万ルーブルに、です。国は、これらの増額分の13%を、国民が納めた所得税から還元する。

もちろん、控除額を上げるだけでなく、その関連性を高め、市民に負担をかけず、積極的かつ迅速に、遠隔地から控除を受けられるようにすることが必要です。

さらに、ロシアの家庭の幸福度や生活の質、ひいては人口動態は、社会的領域の状況に直接左右される。

連邦の多くの構成主体が、社会インフラ、文化・スポーツ施設の改修、緊急住宅の再定住、農村部の総合的な開発を大幅に加速させる用意があることを私は知っている。これは必ずや支援されるでしょう。

2024年の連邦予算に計上されている国家プロジェクトのための資金を、地方は無利子の国庫融資で受け取り、使うことができます。これは良い手段です。

この問題は、常に迅速なコントロール下に置き、国務院経済財政委員会にもこの作業に関与してもらうことにしている。

同時に、嵐を呼ぶような、量を追いかけるような、特に建設される施設の質を損なうようなことは必要ありません。追加財源は高い効率と効果で働かなければならない。

これは、2021年に開始した大規模プログラムであるプライマリーヘルスケアの近代化にとって、特に重要なことです。何度もお話ししていることですが、主な基準は報告書の数字ではなく、医療の利用可能性と質における具体的で目に見える変化であることを、政府や地域のリーダーたちに忘れないでいただきたいのです。

また、私は政府に対し、診断装置一式を搭載した救急車の調達に関する規制の枠

組みを調整するよう指示します。これにより、企業や学校、施設、遠隔地のコミュニティで、健康診断や予防的な検査を直接実施することが可能になります。

私たちは、学校の改修を行う大規模なプログラムを開始しました。今年末までに、合計約 3.5 万棟の校舎が改築される予定です。そのほとんどが農村部にあることを指摘したいと思いますが、これは意図的にやったことです。今年はドネツク、ルハンスク人民共和国、ケルソン、ザポリツィヤの各州でもこのような作業が行われています。意義があり、目に見えるので、人々は何が起こっているのかがよくわかります。これは非常に良いことです。

2025 年からは、幼稚園、学校、職業訓練校、大学の修繕・改修のために、定期的かつ計画的に連邦資金を地方に配分し、建物が老朽化するような事態を回避する予定です。

さらに、2019 年から 2024 年の間に 1,300 校以上の学校を新設するという意欲的な目標も掲げています。そのうち 850 校はすでに開校しています。さらに 400 校が今年度中に委託される予定です。地方には、これらの計画を堅持するようお願いします。このプログラムに対する 2019 年から 2024 年までの連邦政府の資金提供額は、ほぼ 4,900 億ルーブルである。私たちはこれらの支出を減らすことなく、すべて維持します。

今年、私たちはインフラ予算の融資額を増やしました。強調したいのは、地方の交通、公共事業などのインフラ整備に、先の計画通りではなく、2500 億ルーブルを追加で充てるということです。

私は政府に対して、それに加えて 500 億ルーブルを追加で提供するよう指示しています。今年度、その資金は連邦地域の公共交通機関を最新の技術で改修するために使われる予定です。同時に、小さな町や農村部にも特別な注意を払うようお願いしたい。

私たちはすでに、最大の産業中心地の環境状況を改善するために、「クリーン・エア」プロジェクトを 2030 年まで延長することを決定しています。私は、産業界の企業や地域・自治体の皆様に、有害排出物の大幅な削減という課題がまだ残っていることに注目していただきたいと思います。

廃棄物処理業の改革が順調に進んでいることを付け加えておきたい。クローズ

ド・サイクル経済への移行を目指し、リサイクルと分別の能力を高めています。優先すべきは、古い埋立地や危険な集積地の廃止を継続することです。政府には、地方とともに、現在のプログラム終了後に撤去される施設のリストを作成するようお願いしたいと思います。

また、バイカル川やヴォルガ川などの特殊な水域の修復を継続し、中期的にはドン川、カマ川、イルティッシュ川、ウラル川、テレク川、ヴォルホフ川、ネヴァ川、イルメン湖などにもこの作業を拡大する予定である。中・小河川についても忘れてはならない。私は、政府のあらゆるレベルの人々に、このことに注意を払うよう求めています。

先ほどの指示に従い、保護地域の観光開発に関する法律の草案も作成されました。私たちは最近、政府の同僚とこの法律について話し合いました。この法律では、何がどこにできて、何ができないのか、そして一般的にエコツーリズム産業の原則を明確に定義しなければなりません。これはわが国にとって非常に重要な問題です。私は、この法律の草案の検討を早めるよう、国家議会に要請します。

さて、私たちの周りで起きていることについて、もう少しだけ。

親愛なる同僚の皆さん、私はもう1つのトピックに焦点を当てたいと思います。

今年の2月初め、北大西洋同盟から、ロシアに対して、核防衛施設の査察を認めるなど、いわば戦略兵器削減条約の遵守に立ち戻るよう求める声明が出されました。しかし、これを何と呼べばいいのかさえ分からない。不条理劇場のようなものです。

キエフ政権が我々の戦略的航空基地を攻撃しようとしたことに、西側諸国が直接的に関与していることは承知している。この目的のために使われたドローンは、NATOの専門家の援助で装備され、アップグレードされた。そして今、彼らは私たちの防衛施設も検査しようとしている？今日の対立の現状では、これは単なるナンセンスにしか聞こえない。

同時に、この条約のもとでは、私たちは本格的な査察を行うことができないのです。何度頼んでも、形式的な理由で拒否され、まともに相手国の検証ができない。

強調したいのは、米国とNATOは、ロシアに戦略的敗北を与えることが目的だと

明言していることだ。そしてその後、何事もなかったかのように、最新鋭のものを含む我々の防衛施設の周りを走り回るつもりなのではないでしょうか？1週間前、私は、たとえば、新しい地上型戦略複合施設を戦闘任務に就かせるという法令に署名した。そこにも鼻を突っ込むつもりなのだろうか。私たちが彼らを受け入れるとも思っているのだろうか？

集団声明を発表することで、NATO は事実上、戦略兵器削減条約の締約国になることを目指したのです。私たちはこれに同意します。なぜなら、NATO には1つ以上の核保有国があり、アメリカ、イギリス、フランスも核兵器を保有し、改良と開発を続けており、それらは我々に対しても向けられているからです。彼らの指導者による最新の声明は、それを裏付けるものです。

私たちは、特に今日、このことを無視することはできない。ちょうど、最初の戦略兵器削減条約が、1991年にソ連と米国によって、緊張の緩和と相互信頼の強化という根本的に異なる状況下で締結されたという事実を無視できないのと同じである。その後、私たちの関係は、ロシアと米国がもはやお互いを敵対視していないと宣言するレベルにまで達している。驚くべきことに、それは非常に良いことであった。

2010年に発効した条約には、安全保障の不可分性、戦略的攻撃兵器と防衛兵器の直接的な関連性についての重要な条項が含まれている。このようなことはとくに忘れ去られ、アメリカはABM条約を脱退しました。ご存知のように、すべては過去のことなのです。非常に重要なことですが、日米関係は悪化しており、これは完全にアメリカの「手柄」なのです。

ソ連崩壊後、第二次世界大戦の結果を修正し、一人の主人だけが存在するアメリカ型の世界を築こうとしたのは彼らです。そのために、彼らは、ヤルタとポツダムの方の遺産を否定するために、第二次世界大戦後の世界秩序の基盤をすべて露骨に破壊し始めたのである。一步一步、既成の世界秩序を修正し始め、安全保障と軍備管理のシステムを解体し、世界中で一連の戦争を計画し、実行したのである。

そして、第二次世界大戦後の国際関係の構造を壊すという、たった一つの目的のために、繰り返すが、戦争を起こしたのである。ソ連が崩壊した後、彼らは現代のロシアの利益や他の国々の利益も考慮することなく、世界支配を永久に固定化しようとしているのです。

もちろん、1945 年以降の世界の状況は変化している。新しい発展と影響力の中心が形成され、急速に発展しつつある。それは自然で客観的なプロセスであり、無視することはできない。しかし、米国が自国のためだけに、自国のエゴイスティックな利益のためだけに、世界秩序を再構築し始めたことは容認できない。

今、彼らは NATO の代表を通してシグナルを送っており、実際、最後通牒を突きつけているのだ。「あなた方、ロシアは START 条約を含め、合意したことを無条件に実行しなさい。START 問題と、例えばウクライナ紛争など西側諸国によるわが国への敵対行為とは関係がないと言い、わが国に戦略的敗北を与えたいという発言も響かない。これは偽善と皮肉の極みというか、バカの極みというか、でもバカとは呼べない、結局はバカな人たちなんです。彼らは戦略的にわれわれを打ち負かそうと考え、われわれの核施設に押し入ってきているのだ。

だから私は今日、ロシアが戦略兵器削減条約への参加を停止することを発表せざるを得なくなった。繰り返すが、ロシアは条約から脱退するのではなく、参加を停止するのである。しかし、この問題の議論に戻る前に、フランスや英国などの北大西洋同盟諸国が何を主張し、彼らの戦略兵器、つまり同盟の総攻撃力をどう考慮するのか、我々自身で理解しなければならない。

彼らは今、声明によって、実質的にこのプロセスへの参加を申し出ているのです。ありがたいことです、どうぞ、私たちは気にしません。みんなに嘘をついて、平和とデタントのチャンピオンのふりをする必要はない。私たちは、すべての基地を知っている。米国の核弾頭の種類によっては保証期限が切れていることも知っている。これに関連して、ワシントンの一部の人々は、米国が新しいタイプの核弾頭を開発しているという事実を考慮し、核兵器の自然実験の可能性について考えているという事実も知っています。そのような情報がある。

このような状況下で、ロシア国防省とロスアトムは、ロシアの核兵器の実験の準備を確実にしなければならない。もちろん、われわれが最初にやるわけではないが、アメリカが実験すれば、われわれもやるだろう。世界の戦略的平価が破壊されかねないという危険な幻想を、誰も抱いてはならない。

同僚の皆さん、尊敬するロシアの市民の皆さん。

今日、われわれは困難で険しい道を共に歩み、あらゆる困難も共に乗り越えてい

る。なぜなら、私たちは偉大な先祖を手本に育てられ、代々受け継がれてきたその遺産を尊重しなければならないからです。私たちが前進しているのは、祖国への献身、私たちの意志、私たちの団結のおかげです。

この団結は、特別軍事作戦の初日から文字通りの形で表れています。何百人もの志願者、わが国のすべての民族の代表が軍登録・入隊所に集まり、ドンバスの守護者ととともに、祖国、祖国、真実と正義のために戦うことを決意したのです。多国籍の祖国のあらゆる地域から集まった兵士たちが、最前線で肩を並べて戦っている。彼らの祈りはさまざまな言語で語られていますが、それらはすべて勝利のため、戦友のため、祖国のためのものなのです。(拍手)

彼らの懸命な、戦いのような仕事、偉業はロシア全土で力強い共鳴を見出す。人々は我々の戦士を支持し、離れたくない、離れられないのです。前線は今、何百万人もの国民の心を通過しています。彼らは医薬品、通信機器、輸送手段、防寒着、迷彩ネットなどを前線に送っており、我が兵士たちの命を守るためのあらゆるものを送っています。

私は、子供たちや学校の子供たちからの手紙が、前線の兵士たちをどれほど暖かくしているかを知っています。子どもたちの真摯で純粋な思いは、兵士たちの涙を誘い、自分たちが何のために戦い、誰を守っているのかを気づかせてくれるからだ。

また、戦友やその家族である民間人を包む心遣いも、彼らにとっては非常に大切なものである。特別作戦の開始当初から、彼らは勇敢かつ果敢に行動してきた。砲火や砲撃の中、子供や老人、困っている人を地下室から連れ出し、食料、水、衣服をホットスポットに運び、難民のための人道支援センターを立ち上げ、野戦病院や連絡線上で助け、身を危険にさらし、人を救い、今も救い続けているのである。

人民戦線は、「勝利のためにすべてを！」キャンペーンの一環として、単独で50億ルーブル以上を集めている。この寄付の流れは絶え間なく続いています。大企業も起業家もそうですが、特に収入の少ない人が貯蓄や給与、年金の一部を送金してくれるのは感動的です。私たちの戦士、戦地の市民、難民を助けるためのこのような団結は、多くの価値があります。

このような心からの支援、団結、相互扶助に感謝します。それらは誇張されたも

のではありません。

ロシアはどんな困難にも立ち向かいます。なぜなら、私たちは皆、ひとつの国、ひとつの偉大な、そして団結した国民だからです。私たちは自分たちに確信があり、自分たちの強みに確信があります。真実は私たちの背後にあるのです。(拍手)

ありがとうございました。

ロシア連邦の国歌が演奏されます。